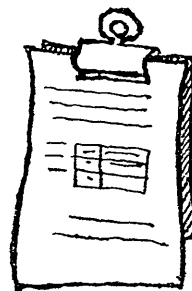


ニュース断片

アメリカにおける

自由診療所の全国調査

(1967~1969)



新しい形の保健医療施設として、無料の篤志による診療所が、現われて来た。これらの施設の多くは、僅かの財政的支援のもとで、保健医療専門家及び地域の人々の篤志活動によっている。現在135の診療所があり、全米及びカナダにあまねく普及し、特にカリフォルニアに約42(1970年末)と最も多い。

調査目的と方法

カナダおよび全米の全自由診療所95(1969年末)を対象とし、設立主旨と目的、開設方法と時期、活動対策と内容などについて、質問紙郵送と電話又は訪問の調査を行なった。

自由診療所(Free Clinics)の定義と形式

無料の診療活動は慈善団体、公的機関を通じて行なわれ、最近ではOEO(経済機会局)の近隣保健センター、PHSの総合保健センターなどがあるが、ここでは自由診療所として次の7つの規準を置いた。(1)直接に医療、心理、麻薬指導を実施し、(2)関連した専門家が存在し、(3)お役所的な審査無く、誰にでも門口を開放し、(4)一般に無料、特殊なサービスでも50セントか1ドル又は寄附金のみで、(5)少なくとも職員に篤志家の専門家が何人かいて、(6)サービス時間を定め、(7)施設を有するとし、収容施設や簡単な相談施設及び診療所に関連する大学、病院、衛生部さらに疾病や対象者を初めから限っているものも除いた。形式としては、近隣型、街

路型、青年型、その他とした。近隣型の多くは、保健医療施設が無く、少数民族地区などにあり、住民団体又は政治的な団体の設立又は後援によっている。街路型は麻薬等薬剤服用、性病、妊娠等の問題で心理学者が参加しているのが多く、また、運営委員会等の組織が明らかでなく、職員によって方針が決定されている。利用者は19~24歳の年齢層が多い。青年型は、公私の団体によって組織され、主婦、その他の民間人を含めた運営委員会が置かれているものが多く、利用者は16~18歳が多い。59施設のうち1967年5、68年24、69年30開設され、9施設は現在活動をしていない。

診療所サービス時間

医師、設備により違いが多く、一部では患者が多過ぎたり、定められた時間でのサービスが違った医師によるという施設も見られる。

医師による医療は、急性症は全施設、救急、性病は多くの施設で、街路型及び青年型は救急、性病が多く、近隣型は母子保健、健

康診断が多い。

その他の医療は、処方箋に限るものから、薬剤を十分に用意しているものまでいろいろある。近隣型では総べてで予防接種を、多くで家族計画を実施している。臨床検査は、45施設に検査室を有し、限られた検査を実施しているが、民間検査室、病院等をも利用している。

歯科医療は、11施設のみに限られている。

麻薬等薬剤ケアは、総合的ケアとして、相談、教育、解毒、リハビリテーション全部をしているのは12施設のみであるが、教育や資料提供、他の機関紹介等は35施設で、その他の施設でも何等かの活動をしている。

精神医学的心理学的サービスは、35施設で個人指導が可能で、28施設でグループ指導、11施設で長期心理学的サービスを行なっている。

その他の各種のサービスを、さらに保健以外の法律相談等をも実施している。

診療所の業務時間は平均週 14.5 時間、4.1 セッションで81%は夜間、15%昼間、4%土曜日である。

医師等職員

917名の医師が53の施設でサービスに従事し、その内訳は、インターン、レジデント26%、精神科10%、一般医12%、内科専門医15%、小児科10%、産婦人科8%、その他専門医12%、その他となっている。全医師の働いた時間の約7%が報酬として支払われているに過ぎず、残り月約6,000時間相当以上は寄附となっている。診療所の管理医も同様に各種の医師よりなり、少数の施設では、主たる方針を決定するが、多くは、運営委員会、職員、地域住民によって方針が決定されたものに従う。

他の職員も、特に専門職は篤志家が多く、殆んど施設が基金によらないため、当初は無報酬であることがみられる。その後後援者が得られても一般に給与は低い。

著者は最後に、自由診療所の“Free”は単なる無料の意味のみでなく、官僚的面を持たず、適格者審査等も無く自由に利用できるという点にあるとし、貧困者、その他保健医療サー

ビスを受け難い各種の人々に対し新しい型のサービスと位置づけている。この運動は、資金、篤志家特に医師以外の専門職の篤志家の確保、施設の貧困、過剰な利用者など多くの問題を残している。しかし、この施設は、近隣の人々に率先して実行する気持さらに組織作りに発展するようにしむけた。この診療所の真の成功とは、患者と提携することによって、さらに患者が診療所を自分達のものとして行くことにあると言える。この自由診療所は、新しい医療を提供する型を示しているといえよう。

SCHWARTZ J. L., Dr. P. H.: First National Survey of Free Medical Clinics 1967-1969, *HSMHA HEALTH Reports*, 86(9), 775-787, Sept., 1971.

(西 三郎 国立公衆衛生院)